



## ふじさわ教育署名スタート集会

### みんなで語ろう 藤沢の教育

9月2日 教育署名スタート集会がFプレースで、4年ぶりに行われました。

新たなコロナ流行の中、参加者は13人でしたが内容は密度の濃いものでした。

先生がたりない、未配置の実態、あんなに意欲的で署名にも熱心に取り組んでいた先生が元気を失って退職してしまった等、深刻な現場の状況が報告されました。

子どもが増えているからという理由で学校給食の無償化も中学校給食も後回しされていること。もはや「学区の見直し」ではどうしようもないマンモス校問題。「新しい学校をつくる以外、解決しないね」がみんなの声でした。ぜひ 例年の署名ですが今年は切実です。多くの人に声をかけましょう  
(30人学級を実現させる藤沢の会 遠藤 玲子)



#### ○ 辻堂小学校について

発言者 加藤さおりさん

我が子は県でも有数のマンモス校、辻堂小学校に通っています。今年度の児童数は1289人、39クラスです。現在息子は6年生、娘は2年生です。息子が入学した頃より120人ほど増加、来年度も更に増える見込みです。令和3年に施行された35人以下学級の関係もあり、辻小では教室が足りず、これまでにパソコン室、図工室、そして子供たちの思い出がつまった大コモンと呼ばれるホールまでもが教室に変わりました。

校舎も4年、6年は仮設のプレハブを長年使い続けています。冷暖房はあるものの夏は熱く、冬は寒く、4年生の夏は特に膝裏のあせもがひどかったのを記憶しています。

学校の様子を我が子に聞いてみましたが、コロナ禍もあり子供たちの学校生活は我慢の連続です。

まず校庭で遊ぶ日や時間がクラスごとに決められています。中休み校庭で遊ぶ日は、昼休みは遊べない。さらに熱中症アラートが出たら外遊び、体育、水泳でさえも中止になります。

給食の時間、給食室の前は渋滞になり、なかなか前へ進まない日もあります。4時間目が体育や別教室での授業の時は、給食室から遠い教室だと、準備に時間を削がれ食べる時間が減り、大急ぎで食べているそうです。



4年ぶり保護者主催ふれあい夏まつり(辻堂小だより9月号)

登下校、1300人が一斉に登校、学校周辺は住宅街のため道幅も狭く、ガードレールのない場所、狭い歩道やグリーンベルト、常に危険と隣合わせです。狭い場所ではガードレールからはみ出す子もしばし。また SST や太平台から通う子供たちは40分かけて歩いて来ます。低学年の子にはかなり厳しい距離です。

運動会、昨年は2学年ごとに午前中だ

けの開催でしたが、今年は全校でやることになりました。ただし保護者の参観は低、中、高学年の入れ替え制です。当日各家庭2名参観と想定しても、3900名が集うことになり、安全を配慮した結果です。我が子以外の学年は見られないのです。我が子も含め子供たちの姿を見て応援したい、成長を感じたいと思う保護者もきっと多いはずですが、それもままなりません。

このような状況はありますが、先生方はいろいろと工夫されていると感じています。

コロナ禍でも、1年生の保護者向けに給食試食会を実施したり、授業参観も入れ替えなど工夫して毎学期開催、今年は4年ぶりに保護者主催の夏祭りも行いました。マンモス校でも、安全に配慮しながら、行事を継続する努力をされていて、保護者としてはありがたいです。

子供の人数の増加はもはや学校でコントロールできることではありません。

来年度はさらに入学者が増えるとの予測から、就学指定校変更制度が導入され、鶴南、浜見に数十名ほど、新入生の変更希望者を募るお知らせが来ました。

数十名の学区を変えるだけでは、もはや根本的な解決には至らないところまで来ていると思います。

藤沢市には既にマンモス校がいくつもあります。校舎の増設や新しい学校の設置など、市として早急な対応を切に求めます。

辻堂小学校からは八松小、高砂小、鶴南小が分離し開校してきました(右表「沿革」参照)。1970年の鶴南小分離開校以降50年以上プレハブ校舎の増築で児童増加に対応してきています。新しい学校がつかられないことでさまざまな教育条件の低下、困難が生じています。

街づくり、都市開発は、子どもたちの成長・発達を保証することを前提に、教育行政と連携し、教育環境をどう整えるのかを見通して進められることが求められています。

辻堂小学校HP掲載「沿革」より
1959(昭和34)年八松小分離開校
1964(昭和39)年高砂小分離開校
1970(昭和45)年鶴南小分離開校
2004(平成16)年プレハブ棟5教室建設
2009(平成21)年児童数1050名
2013(平成25)年西プレハブ校舎設置
2018(平成30)年児童数1078名
2019(平成31)年児童数1197名
2021(令和3)年児童数1255名
2023(令和5)年児童数1289名

ゆきとどいた教育をすすめる神奈川県実行委員会

**神奈川教育署名提出集会2023 12月1日(金)開催予定**

## 2024年度から使用する 小学校教科書が採択されました

藤沢市教育委員会は7月28日(金)7月臨時会を藤沢市民会館第2展示集会ホールで開き、2024年度から使用する小学校教科書について審議を行い右表の教科書を採択しました。

傍聴定員100名のところ60人あまりが希望、全員が会議会場で傍聴しました。音声傍聴の会場である小ホールには、今回初めて、映像の準備もされていました。市民に開かれた前向きな対応でうれしく思います。

審議は学校から提出された調査書や採択審議委員会での意見・答申等に触れながらの発言があり、学校現場の先生方の意向に沿った採択結果になりました。

教科書展示会への参加、意見書の提出、学習会への参加、傍聴等々、力を合わせた市民の成果です。ありがとうございました。

教科	種目	発行者
国語	国語	光村
	書写	光村
社会	社会	教出
	地図	帝国
算数	算数	東書
理科	理科	大日本
生活	生活	東書
音楽	音楽	教芸
図画工作	図画工作	開隆堂
家庭	家庭	開隆堂
体育	保健	学研
外国語	英語	東書
特別の教科道徳	道徳	光村

10月からの新教育委員に、井沼 隆史さん。藤沢市立中里小学校PTA会長、藤沢の子どもたちのためにつながる会代表、藤沢市社会教育委員など歴任。市村 杏奈さんが退任。ありがとうございました。

☆採択の資料は臨時会会議録を含め当会のHPに掲載しています。ご利用ください。